

創造、自律、協働による滋賀県産業の振興に向けて

近年、わが国を取り巻く経済・社会は、グローバル化やIT化、科学技術の急速な進展を背景として、国際的な地域間競争時代に突入するとともに、地球環境問題の顕在化、人々の価値観やライフスタイルの多様化など、従来の社会や経済の制度・枠組みが崩れ、文字どおり変革の時代を迎えております。

一方、本県経済は、デフレの進行や景気低迷の長期化の中、これまでとは違ったたいへん厳しい状況下に置かれています。

このような今こそ、皆が厳しさに挑む決意を一にして、この変革に対応できる産業振興の確かな方向を見定めることがたいへん重要であると考えます。

このため、県では、県民の皆様はじめ多くの関係者の方々からいただいた御意見等をもとに、現行の産業振興指針を見直し、中・長期的な観点から本県産業振興の戦略方向を示す「滋賀県産業振興新指針」を策定いたしました。

私は、これからの進むべき方向として、本県の地理的条件や大学等の研究基盤、自然環境や文化芸術環境などの恵まれた素材を活かしながら、企業や事業者自身が、世界的な競争に打ち勝てる技術やサービスを創造していくことができ、かつ、自律的なネットワークを活用して社会経済環境の変化に柔軟に対応しながら発展していく姿を思い描いております。

今後、この指針の推進において決して画竜点睛を欠くことのないよう、産学官がそれぞれの役割を十分に認識しながら効果的な連携を深め、創造型、自律型の産業構造に向けて理念と目標を見失わず、着実に実行を積み重ねていくことが求められております。

県におきましても、県民・NPO、企業・事業者の方々の自主的かつ積極的な活動を基盤として、産学官が共に地域の視点で考え、地域としての取り組みを発信していくことができるよう、さらには、この指針策定の後も幅広く皆様から御提言を求め、施策など見直すべきは大胆に見直すことを心掛けながら、滋賀が、挑戦と競争の試練を経て、飛躍へのダイナミックな展開を図り、元気な産業おこしのモデル県となるよう、各界各層の皆様との協働のもとに、その推進を図ってまいりたいと考えております。

最後に、この指針の策定にあたり、滋賀県産業振興委員会の仁連委員長はじめ、委員各位と御協力をいただきました経済労働関係団体、大学等の関係機関の皆様や夢のある御意見を賜りました方々に、深く感謝申し上げます。

平成15年(2003年) 3 月

滋賀県知事 國松善次